

情報提供日	平成 28 年(2016 年) 9 月 5 日
問い合わせ先	こども未来部児童総合支援担当(馬場) 918-5027(ダイヤル)内線: 2154

報道機関 各位

<補正予算議案 関連(こどもの居場所創出事業)>

(仮称)明石こども食堂 **プラス** プロジェクト

～ 「(仮称)地域総合支援型こども食堂=気づきの地域拠点」のモデル実施 ～

単にこどもへの食事の提供だけでなく、こどもの置かれた状態(家庭環境、経済状態など)を早期に把握し、支援が必要なこどもを支援するとともに、適時・適切に各種行政サービスや関係機関につなぐための地域拠点としての「地域総合支援型こども食堂」の整備に向け検討を進めています。

そこで、平成28年9月議会において、運営課題や利用者ニーズの把握、担い手の掘り起しなど、「地域総合支援型こども食堂」の制度設計に関する調査研究を行うためのモデル事業にかかる予算案を提案します。

1 (仮称)地域総合支援型こども食堂(明石こども食堂プラス)の特徴

- プラス1** 「こども」 **プラス** 「地域」・・・近所のおばちゃん、おにいちゃんも
- プラス2** 「食堂」 **プラス** 「居場所」・・・遊んで、宿題して、ほっとするところ
- プラス3** こどもの未来に **プラス**・・・ひとりひとりの夢を、みんなで応援

2 事業概要

(1) モデル実施内容

- ・こども食堂の運営主体に対する中間支援
- ・食材費や教材費等の運営経費の補助
- ・運営課題や利用者ニーズの把握
- ・学習支援やこどもの見守りなどにかかる人材養成 など

(2) 規模等

年度内で、5～10カ所程度を想定しています。

(3) 予算

5,000千円

3 今後の方向性

将来的には、全28小学校区に、それぞれ1か所以上、校区単位での運営による地域総合支援型こども食堂が位置づくことを目指します。